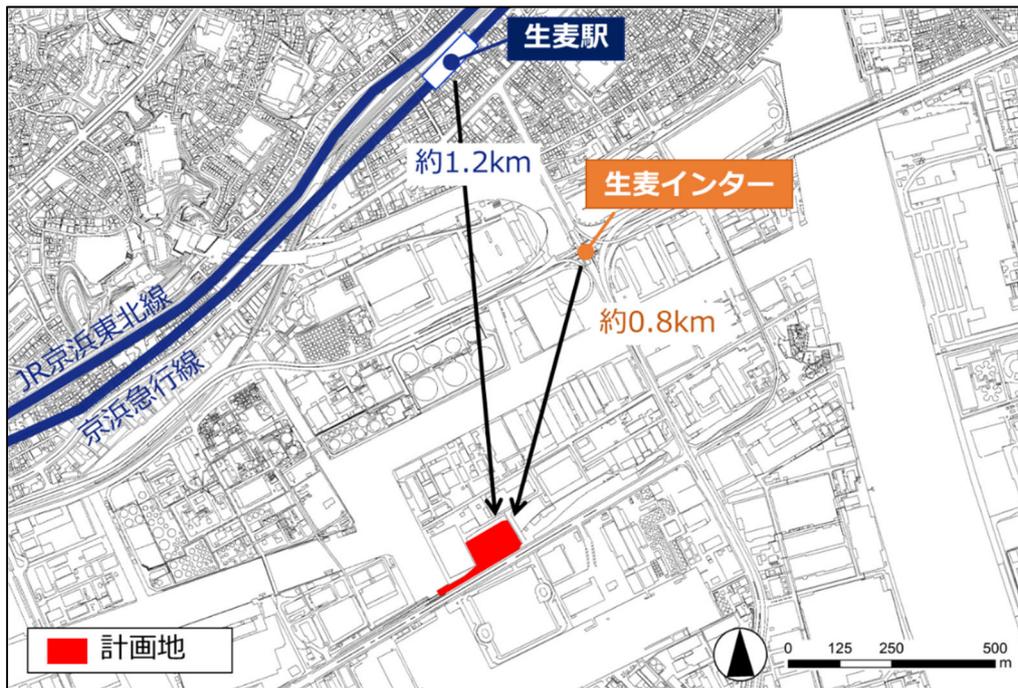


## 東部方面斎場（仮称）整備事業の進捗状況について（中間報告）

- 令和4年度は昨年度から引き続き実施設計を進めているほか、斎場敷地及び周辺道路で土木工事に着手しました。
- 建物建設工事については当初の予定どおり令和5年度末に着工する予定ですが、供用開始時期については、当初の目標である「令和7年度末」から、「令和8年10月」となる見込みです。
- 土壤汚染対策法に基づく調査を実施したところ、整備用地から基準を超えた「鉛」、「砒素」、「ふっ素」が検出されました。今後、所管部署と協議のうえ適切に対応します。
- 本日の内容について、地域の方に御説明する説明会を令和5年1月27、28日に鶴見区生麦地区センターで開催します。詳細は広報よこはま1月号に掲載しています。

### 1 案内図

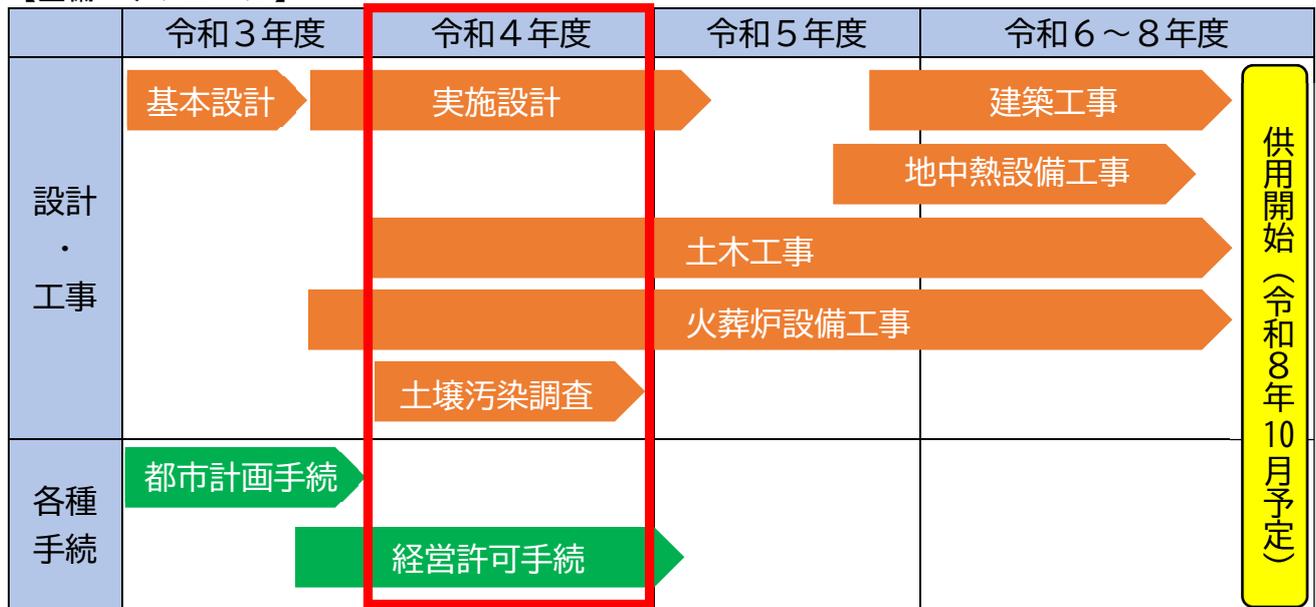


### 2 整備概要

計 画 地	鶴見区大黒町 18 番地の 18	構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
規 模	敷地面積：約 11,000 m <sup>2</sup> 、延床面積：約 22,000 m <sup>2</sup> 階数：地上 4 階／地下 1 階、高さ：約 25m		
火葬炉設備	16 炉（内予備 1 炉）	事業費	約 221 億円
主 要 諸 室	葬儀式場（約 50 人用 2 室、約 20 人用 1 室）、炉前ホール（16 室）、霊安室、面会室、待合室（16 室）、待合ロビー、売店・喫茶、駐車場（150 台）		

### 3 事業の進捗状況

#### 【整備スケジュール】



※現時点での想定スケジュールです。事業の進捗状況により、変更になる場合があります。

#### （1）供用開始時期変更理由

設計を進める中で、建設工事の週休二日制への対応や高い環境性能の実現に向けた地中熱設備の導入など、当初想定していなかった要素が加わりました。

工期短縮のため様々な調整を行いました。目標の工期まで短縮できず、当初の予定から6か月遅れた供用開始となる見込みです。

#### 【工期短縮の主な取組】

- ・ 地中熱設備工事を建物工事から分離し、先行して施工
- ・ 各種工事工程の徹底した見直し
- ・ 施設竣工から供用開始までの準備期間中の、火葬炉の試運転や家具等の搬入・設置スケジュールの見直し

#### （2）土壌汚染調査

令和5年度の建設工事着工に向け、本年度、斎場整備用地において土壌汚染対策法に基づく調査を実施しました。

調査の結果、基準を超える「鉛」、「砒素」、「ふっ素」が検出されました。

#### （ア）調査内容

整備用地を30mの格子状の区画に分けて21か所で土壌試料を採取し、特定有害物質を測定しました。

(イ) 調査結果 (最大値) ※黄色網掛け部分が基準値超過

調査項目	土壌溶出量基準 (mg/L)	調査結果 (mg/L)	土壌含有量基準 (mg/kg)	調査結果 (mg/kg)
鉛	0.01 以下	0.017	150 以下	240
砒素	0.01 以下	0.074	150 以下	13
ふっ素	0.8 以下	1.3	4,000 以下	150

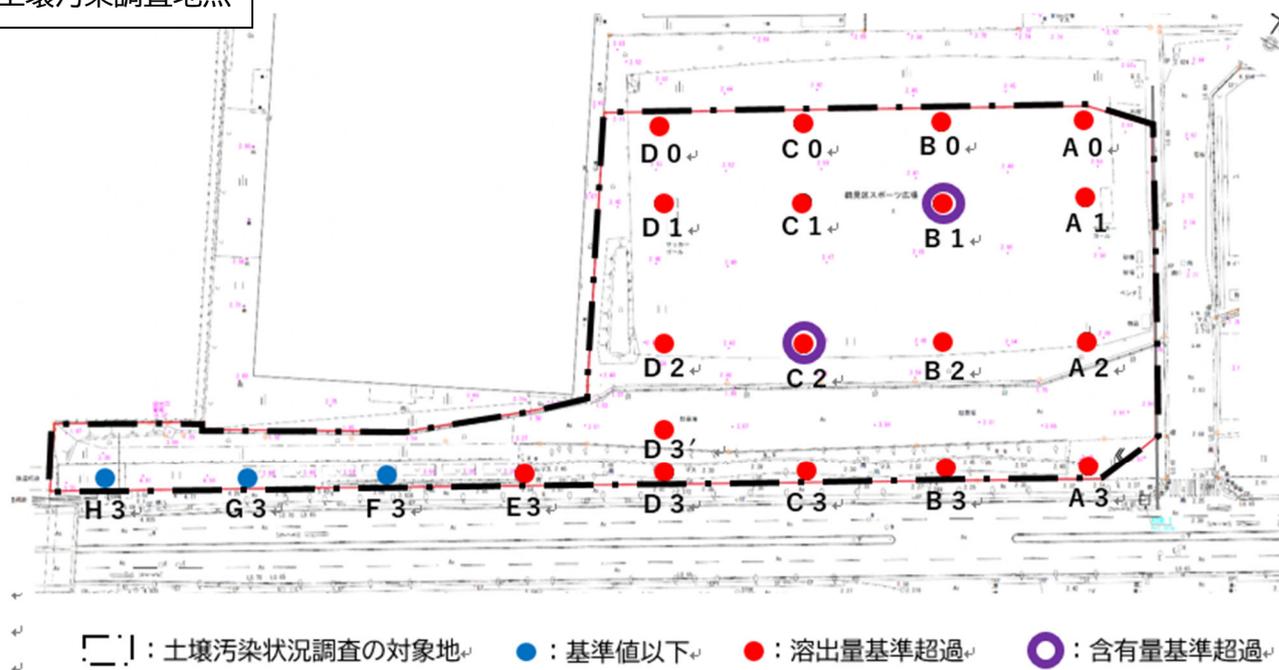
- ・調査地点 21 か所のうち、土壌溶出量基準は 18 か所でいずれかの物質が超過し、そのうち 2 か所で鉛が土壌含有量基準を超過しました。
- ・現在、斎場整備用地は工事中のため、一般の方の立ち入りはできません。また、作業にあたっては散水など土壌飛散防止対策を行っています。
- ・建築工事に際しては搬出する土砂の適正な処分等、所管部署と調整しながら進めていきます。

【参考】

土壌溶出量基準：特定有害物質が溶け出した地下水を長期間（70 年間）飲用することによる健康リスクに関する基準

土壌含有量基準：特定有害物質を口や肌から長期間（70 年間）直接摂取することによる健康リスクに関する基準

土壌汚染調査地点



裏面 参考資料

建物外観



※基本設計時のイメージです。

3階 待合ロビー



※基本設計時のイメージです。

2階 エントランス



※基本設計時のイメージです。

2階 車寄せ



※基本設計時のイメージです。

1階 葬儀式場



※基本設計時のイメージです。

【建物構成】

